

令和6年3月4日

保護者のみなさま

海陽中学校長 龍田 雅和

令和5年度 学校評価結果について（お知らせ）

早春の候、保護者のみなさまにはますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。日頃は、本校の教育に対してご協力・ご支援をいただき、心から感謝しております。

さて、本校の教育を向上させていくための「学校評価」アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。その集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回の「お知らせ」では、保護者・生徒の集計結果を掲載しておりますので、お子様と共にご覧になって、今後の生活に役立てていただければ幸いです。私ども教職員は、今回の結果を分析し、来年度以降の学校教育に生かしていく所存です。

今後とも、本校の教育に対しまして、ご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

（今回の保護者集計結果・生徒集計結果は、本校のホームページにも掲載します。）

集計結果と考察について

1. 生徒のアンケートの結果より

- 生徒アンケートの中で、アンケート項目を「生活全般について」、「授業、教員等に関すること」、「地域とのつながり」の3つに大きく分類しています。その中で問1～問16の「生活全般について」への肯定的な回答が軒並み下がっています。問1の『「早寝・早起き・朝ご飯」など基本的な生活習慣が守れている』という設問については約40%の生徒が否定的な回答でした。保護者アンケート（問15）でも、同様の基本的な生活習慣について肯定的な回答が大幅に下がっていました。中学生の心と体を作る上で生活習慣の充実はとても重要です。学校と家庭が連携し基本的な生活習慣の向上を図る必要があると考えます。
- 生徒の問11の「家で、自分で計画を立てて勉強している」について肯定的な回答が50%を切っています。この回答を反映しているのが問12の学習時間（別紙参照）だと考えます。2年生では学習時間が1日に30分未満の生徒が36%でした。3年生は受検ということもあり、1時間～3時間学習している生徒も見られますが、全体的に家庭学習の時間が不足していることがわかります。
テスト前に計画を立てて学習できるように「星取り表」を作成し、生徒自ら計画を立てて学習に取り組ませています。家庭学習の定着を目指し、テスト前だけでなく短期、長期の計画を立てて学習に取り組めるような方策とり、自分の将来に向けて、学習に意欲的に取り組む姿勢をしっかりと育てていかなければならないと考えています。
- 昨年アンケートで肯定的な回答が少なかった、問19の「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。」が本年度は大幅に改善していました。引き続き徹底していきたいと思います。

- アンケートの中で肯定的な回答が一番多かったのが、問 21 の「先生は、自分の学習の成果を、公平・適切に評価してくれる」で、96.6%の生徒が肯定的な回答でした。引き続き生徒からも信頼が得られる教科指導を行い、適切な評価を行っていきたいと思います。

2. 保護者のアンケートの結果より

- 保護者アンケートからも、生徒アンケート同様に「基本的な生活習慣」の要素が含まれる項目で、アンケート結果の低下が見られました。やはり、中学生の心と体を作り、成長を促すためには、昔から言われている「早寝、早起き、朝ご飯」は重要な要素であると考えます。繰り返しになりますが、学校と家庭が連携し基本的な生活習慣の向上を図る必要があると考えます。
- 問 24 の「家の人と携帯電話やスマートフォン等の使い方についてルールを決め、それを守っている」の否定的な回答が昨年よりも 16.3%増えていました。日々の生徒との会話や家庭訪問、面談でもこの悩みを相談されることが増えています。実際に SNS やゲームが家庭生活や学校生活に悪い影響を与えている事例も見受けられます。もう一度家族で話をする時間を作って、ルール作りやルールの見直しを行ってもよいのではないのでしょうか。
- 問 1 の「学校の教育目標はわかりやすい」と問 32 の「学校からの様々な情報は十分に提供されている」（HP や学年通信を含む）について肯定的な回答が低下していました。学校からの情報発信については方法も含めて検討していきたいと考えています。
- 全体の肯定率が 80%を超えていることから、学校に対して一定の評価をいただいていると考えますが、この評価に甘んじることなく、さらに学校行事を見直し、家庭と連携を図りながら生徒の成長を第一に考えた学校運営を目指します。

アンケート結果を真摯に受け止め、職員研修等を通して教員の資質の向上、授業改善に職員一同一丸となって取り組みます。ご協力ありがとうございました。